

# CSR REPORT

—2020年度 社会活動報告書—

# 2021



## 原点に立ち返り、協同の力で 一人ひとりの生命、地域、地球、未来を守りましょう

ならコープは創立以来、組合員の「安心・安全・安価な商品を購入したい」との願いにこたえ、平和、環境、福祉、子育て支援、男女共同参画などの幅広い社会課題についても、組合員と共に学び考えその解決に向けて取り組み続けてきました。

2020年度は、新型コロナウイルスの脅威にさらされてきましたが、感染状況、社会情勢や組合員のくらしの変化に応じて事業と活動を新たなスタイルに変化させ、組合員のくらしに貢献し続けてきました。オンラインによる会議や学習会は、安心して参加できると仕事にも活動にも役立ちました。

組合員の学習の場である「組合員のつどい」はCO・OP商品を真ん中において、オンラインも活用して少人数で参加できるようにしたことで1万人以上の参加となり、商品を中心とした多くのメッセージが寄せられ

ました。

ステイホームにより各種媒体やホームページでの閲覧や投稿、新たに開設したインスタグラムのフォロワー、リニューアルしたeフレンズの登録も徐々に増えています。組合員への情報発信・コミュニケーションに役立っています。

ならコープ第12次中期計画(2019～2021年度)のテーマ「誰も取り残さない安心してらせる地域づくりのために『たすけあい・ささえあい・わかちあい』」の具体化は、さまざまな分野と地域で事業と活動の連携によってすすめることができました。「ならコープCSRレポート2021」で2020年度の軌跡をご確認ください。

協同の取り組みを各地ですすめ、SDGsにも寄与してまいります。

2021年5月



理事長  
中野 素子

### ならコープとSDGs

日本生活協同組合連合会は、2018年6月に開催された第68回通常総会にて「コープSDGs行動宣言」を採択しました。2015年に国連で採択された17分野の目標・169のターゲットからなる「持続可能な開発目標 (SDGs)」について、生協もその一端を担うべく、7つの取り組みを通じてその実現に貢献することを約束する行動宣言です。ならコープも同様に、「誰もがいつまでも笑顔でらせる社会」をめざして、持続可能な社会・自然共生社会・循環型社会の形成に取り組めます。

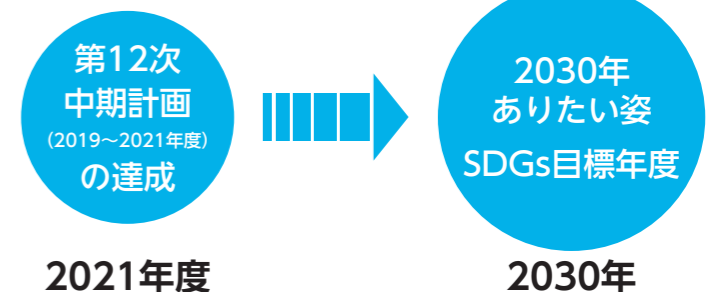
### コープSDGs 行動宣言

私たち生協は、SDGs(持続可能な開発目標)に貢献することを約束(コミット)します。

- |  |                                    |
|--|------------------------------------|
| 12 持続可能な生産と消費のために、商品とくらしのあり方を見直していきます  | 13 気候変動に具体的な対策を、再生可能エネルギーを利用・普及します |
| 1 世界から飢餓や貧困をなくし、子どもたちを支援する活動を推進します     | 16 核兵器廃絶と世界平和の実現をめざす活動を推進します       |
| 5 ジェンダー平等(男女平等)と多様な人々が共生できる社会づくりを推進します | 11 誰もが安心して暮らし続けられる地域社会づくりに参加します    |
| 3 すべての人に健康と福祉を                         | SDGs                               |

### 2030年に向けて

第12次中期計画のなかで定めた「2030年ありたい姿」に向かってさまざまな事業や取り組みをおこなっており、2021年度は第13次中期計画を策定します。2030年はSDGsの目標年度でもあることから、より一層SDGsの取り組みをすすめていきます。



# 事業と活動を通じて組合員のくらしに 貢献し続けます

全体  
テーマ

CO・OP商品60周年  
“商品を普及する”から“みんなで学ぶ”へ、  
そして“伝える”から“伝わる”へ

基本方針達成のための

## 6つのアプローチ



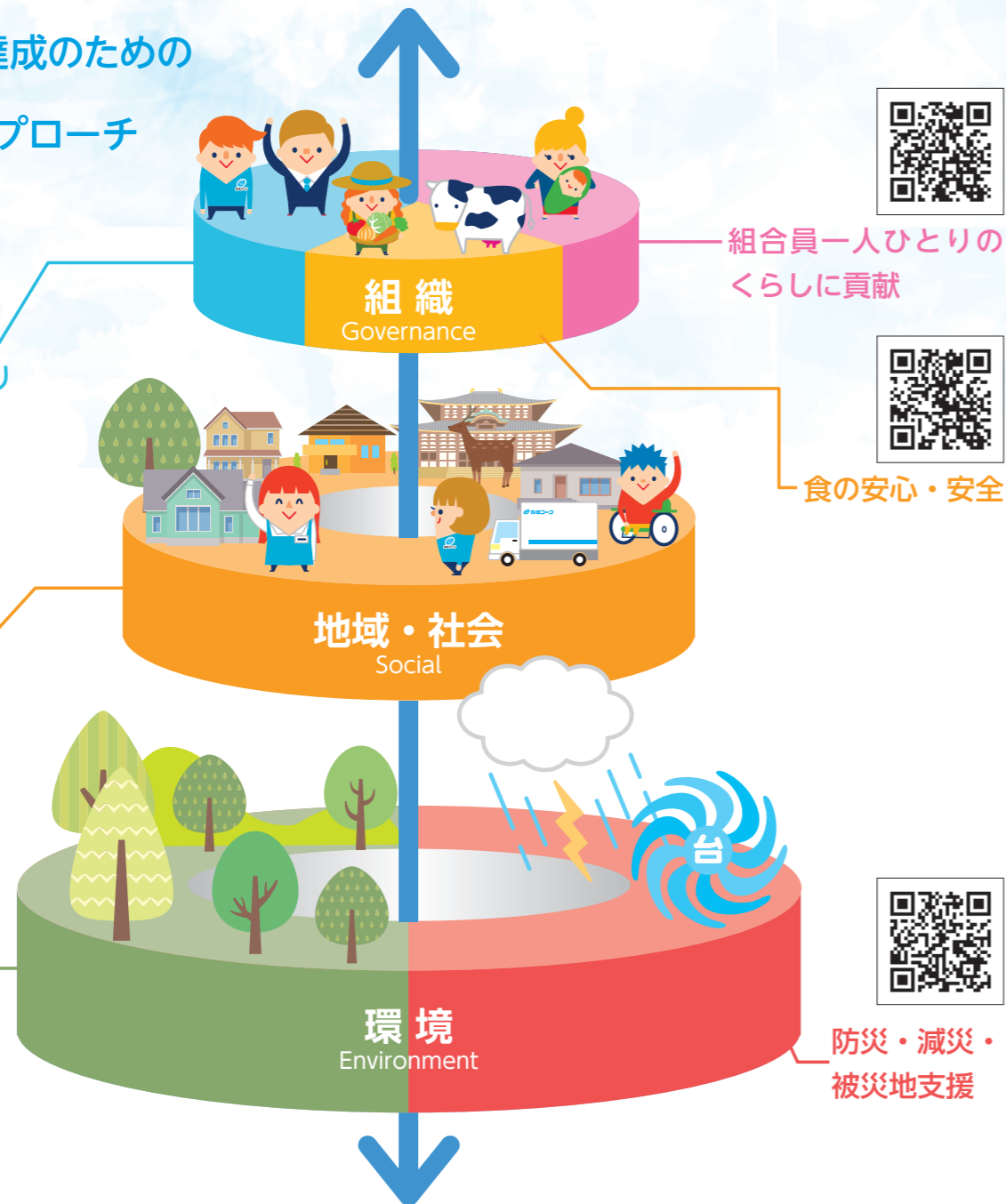
持続可能な  
職場環境づくり



安心・安全な  
地域づくり



環境への  
取り組み



6つのアプローチはSDGsとの関わりが深く、

「誰もがいつまでも笑顔でくらす社会～SDGs(持続可能な開発目標)～」の実現をめざし、くらしをめぐる諸課題や地域づくりの活動を組合員や地域の方々と一緒にすすめることができました。

安心と  
笑顔の  
ために

## 食の安心・安全

数字で見るCSR

商品苦情受付件数	1,224件 (前年比 88.0%)
微生物検査	10,741 検体
理化学検査	3,678 検体

※商品検査は、ならコープ品質保証室とコープきんき、大阪いずみ市民生協の「コープ・ラボ」で実施しています。

HACCPの取り組み

食品衛生法の一部改正により、2021年6月からHACCP(食品取扱の衛生管理手法)に沿った衛生管理が制度化されます。店舗では部門チーフ、管理者に学習会を継続的に実施し、制度への理解を深めました。不具合の修正と帳票の統一をおこない、2月からテスト運用を開始しました。無店舗・宅配では業界団体作成のガイドラインを基に学習と帳票の整理をおこない、6月からの完全施行に備えています。

はなまる運動

知って・知らせて満点!

12月から「はなまる運動(知って・知らせて満点!)」をスタートさせました。組合員だけでなく、働く職員からも、地域の方々からも、たくさんの〇(マル)がもらえるように店舗に関わる仕事に従事している全職員が取り組む運動です。安心・安全、親切的な対応、コンプライアンスをしっかり守るなど、商品のおしらせ以外でも〇(マル)がもらえるようにすすめ、組合員にたくさんの〇(マル)がもらえる店舗運営をめざしています。

CO・OP商品60周年の取り組み

日本生協連のCO・OP商品第1号は価格高騰を背景とした生協バターです。信頼、安心・安全・安価の商品づくりを消費者・生産者が協同してすすめてきました。2020年はCO・OP商品60周年を記念して、全国の生協で「CO・OP商品総選挙」が開催され、ならコープでも投票がおこなわれました。全国で966,969票の投票があり、第1位にCO・OPたまごスープが選ばれました。また機関紙「あをがき」を活用し、1年間CO・OP商品60周年にちなんだ商品を選定して紹介しました。

フードセーフティシステムを運用

ならコープは、確かな商品を組合員に届けるためにリスク分析手法に基づくフードセーフティシステムを運用しており、2020年度も毎月その点検のための「フードセーフティシステム推進委員会」を開催しました。また、この取り組みを監査いただく「安心安全業務監査委員会(写真)」では、「指摘事項の是正も含めて、引き続き前向きに取り組んでおられることを認識、評価しました」との評価をいただきました。



組合員の  
声に応えて

## 組合員一人ひとりのくらしに貢献

数字で見るCSR

夕食宅配 1日あたりお届け食数	4,089食 (前年比 100.2%)
コープあったか便 配達件数	119,496件 (前年比 99.7%)
コープあったか便移動店舗 利用人数	75,945人 (前年比 142.0%)

※あったか便移動店舗は、1台増車して計7台になりました。

キャッシュレス決済の拡充

店舗ではキャッシュレスに対応したならっぴカード(リチャージ式)のほかに、11月よりQRコード決済のPayPayや楽天Pay、12月からはクレジットカードオープン化をスタートし、組合員の利便性を高めるとともに、レジ精算作業時間削減にもつなげました。

レシピ動画でくらしをサポート

コロナ禍の影響で巣ごもり生活が長く続いたことをうけ、店舗では10月からデリッシュキッチンのレシピ動画サイネージを設置しました。動画でのわかりやすいレシピ提案とあたらしい献立の提供で組合員のくらしに貢献しました。



コープみみなし  
リニューアルオープン

2021年2月、3週間余りの工事を経て改装オープンしました。環境・子育てで健康・時短をコンセプトに生まれ変わり、感染拡大防止のために環境に配慮した換気システム「ロスナイ®」の導入、キッズコーナーの設置などさまざまなかたちでくらしに貢献していきます。



eフレンズ リニューアル

2021年1月にeフレンズをリニューアルしました。デザインが一新され、マイページ機能などの新機能を追加しました。また、組合員の声に応えて「抽選による落選情報」や「欠品のお知らせ」の機能が追加され、さらに利用しやすくなりました。

eフレンズ利用組合員：  
週平均 19,566人(12月) (前年比120.3%)

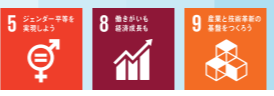


環境  
電気もプラスチックも使わない、エコな「傘のしずくとり」を導入しています。





# 持続可能な職場環境づくり



### 数字で見るCSR

育児休暇取得者 **6人**

障がい者雇用率 **3.95%**  
(特例子会社(ハートフルコープなら含む)  
(法定雇用率 2.3%)

配達用小型車両 **合計7台**

### 男女共同参画

毎年実施している役職員対象の男女共同参画学習会は、上野千鶴子氏(東京大学名誉教授)を講師に迎え、「生協とジェンダー」をテーマにオンラインで講演いただきました。

### より働きやすい制服へ

夏場はマスク着用により配達時の熱中症リスクが高まるため、制服のズボンの変更やネッククーラーの着用などの労働環境整備を実施しました。

### 配達支援システムの導入

無店舗事業では配達支援システムを2021年3月に導入しました。配達支援システムは配達時の組合員との約束事などの情報をデジタル化し、配達担当者の業務用携帯で確認できるシステムです。配達品質を標準化できます。職員の作業軽減、帳票類のペーパーレス化によって「働きがい」「環境保全」に貢献します。

### 業務の問い直し

「なくす、減らす、置き換える」  
マルチジョブ、リモートワークによる働き方改革によって現場の営業時間短縮や休日増を実現することができました。

### 店舗・無店舗

営業時間を短縮しました。ならコープ with ローソン真美ヶ丘店は働き方改革推進のため、1月1日から、朝6時から24時までの時短営業としました。

### 本部

リモートワークを推進し、職員のワークライフバランス向上に努めました。生産性が向上するとともに、新型コロナウイルス対策にもつながりました。



# 環境への取り組み



### 数字で見るCSR

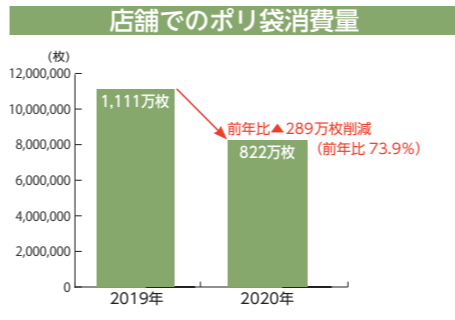
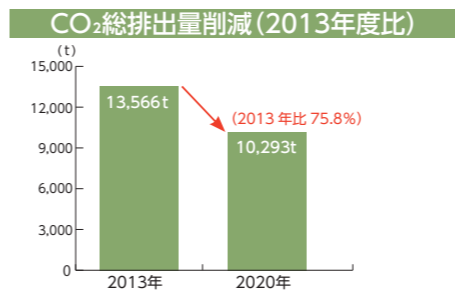
「ならコープでんき」供給地点数 **4,714地点**  
(目標7,000地点)

再生可能エネルギー総発電量 **6,310,028kWh**  
(前年比116.7%)

組合員からの太陽光発電の買い取り **115件**  
259,183kWh(発電容量439.16kW)

一般財団法人再エネ協同基金  
再エネふれんず(賛助会員) **676会員**

生ごみ廃棄量 **32,260kg**  
前年差△(前年比92.1%)



### 「ならコープの2030環境ビジョン」策定

2030年に向けた温室効果ガス削減、食品ロスの削減、プラスチック容器包装材と資材の削減に目標をもって取り組むべく、2030年環境ビジョンを策定しました。奈良の豊かな自然と文化を守り次世代の子どもたちに引き継ぐため、環境にやさしい地域づくりをすすめます。

### 2030環境ビジョン目標

CO2排出量 **50%削減**(2013年度対比)

食品ロス **50%削減**(2019年度対比)

プラスチック容器包装排出量 **30%削減**(2018年度対比)



### 下北山村小又川発電所で発電スタート

自然エネルギーを活用した発電所の開発に取り組む(株)コープエナジーなら(ならコープ子会社)と下北山村との協働により、小又川水力発電所が6月から発電を開始しました。2021年3月、導水管付近崩土により発電を停止。復旧には、1年程度かかる見込みです。



# 安心・安全な地域づくり



### 数字で見るCSR

子育て支援「つながる箱」申し込み件数 **2,763件**

子育て応援「すくすくパス」新規登録 **1,083人**、更新**2,912人**

ユニセフ募金 **123万1,811円**

NPT代表派遣応援募金 **35万9,797円**

被爆者救援募金 **41万3,273円**

コープ福祉募金 **141万4,395円**

### 平和の取り組み

9月にバーチャルオンライン会議にて「第10回国際平和博物館会議」が開催されました。ならコープの平和の取り組み、平和ライブラリーの活用、「奈良県被爆者の会」の記録や「ならけんのヒバクシャの声」冊子の紹介などを英訳文で出展し、ならコープの平和活動を広く伝えることができました。

### ならコープ健康大学

基本的な運動や体操、健康相談などを通して、健康の実感と運動の機会を県民に提供する「ならコープ健康大学」を年間で2回、王寺町地域交流センターで開催しました。「巣ごもりの中リフレッシュできた」などの声が寄せられました。

参加者: 合計 **190人**

### フードドライブ

食品ロス削減の取り組みを目的としてフードドライブを実施しました。家庭で使いきれない未開封の食品をお預かりし、「(特非)フードバンク奈良」「奈良県社会福祉協議会」を通じて子ども食堂などに届けられ活用されました。ならコープでは8月から毎月、店舗でフードドライブを実施し、10月31日には「食品ロス削減の日」として全店で一斉開催しました。

参加者: **219人**

寄付された食品: 約 **735kg**

寄付された学用品: 約 **14kg**

### ならコープ下市ステーション

下市町・南都銀行・ならコープの三者による包括連携協定を締結し、南都銀行旧下市支店の跡地をならコープ下市ステーションとして活用することになりました。拠点周辺への夕食宅配、下市町・黒滝村・天川村への配達のほか、物販や受取ハウス、カフェや組合員活動など地域貢献の拠点としての活用などが期待されています。



### 防災

### 環境

太陽光発電を活用した蓄電システムに加え、電気自動車への充電、電気自動車から給電できるV2Hを導入し、事業所の環境負荷軽減と地域の防災への備えがすすみました。



# 防災・減災・被災地支援

### 数字で見るCSR

東日本大震災被災地の植樹用苗木購入・運営資金 **20万円**

東日本大震災目的別募金額 **198万6,463円**

令和2年7月豪雨災害支援募金 **934万8,738円**

### 災害支援活動

年々大規模化する自然災害への対応など、持続可能な社会の実現に向けならコープ役職員一人ひとりの責任と役割も大きくなると考えます。

東日本大震災被災から10年が経過し、災害を忘れない取り組み報告会など10年間の災害支援活動をまとめた動画を作成しました。今後の新たな災害支援活動を検討していきます。

たすけあい・ささえあい・わかちあい  
**被災地を忘れない**  
ならコープ 災害支援活動 10年のあゆみ

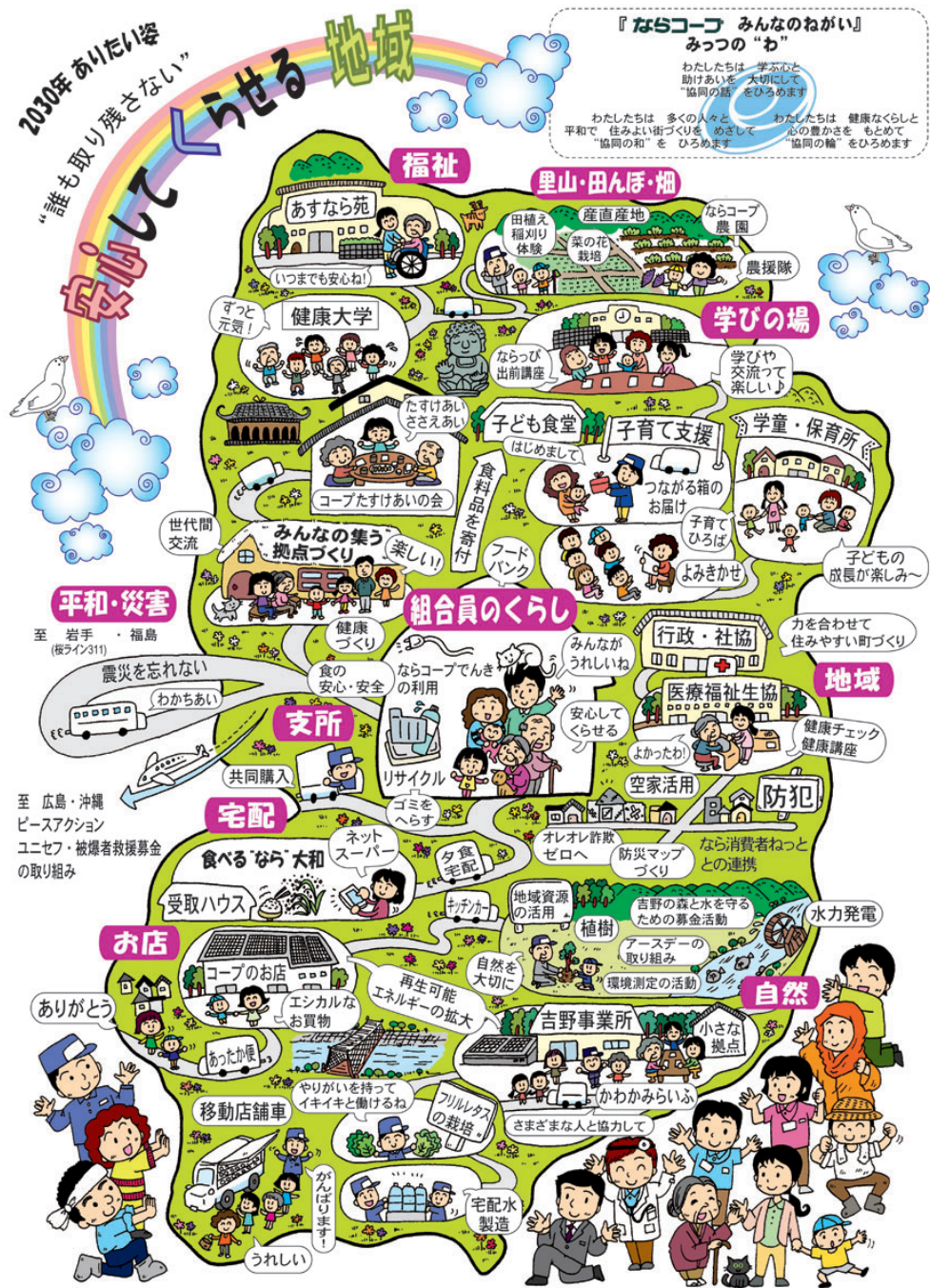
# ならコープ 第12次中期計画 2030年ありたい姿

協同組合として、安心してらせる地域の実現をめざします。

食だけでなく生活全般の課題を、さまざまな視点やアプローチで解決します。

商品やサービスを利用する場としてだけでなく、生活全般の課題を解決する場へと進化します。

これらのことを、地域の方々や県、市町村、自治会、取引先やグループ会社、関連団体などとも連携を深め、あらゆるところで一緒に取り組みをすすめます。



2030年には、それぞれの地域と連携した居場所(拠点)が県内39すべての市町村で実現できていることをめざします。

ならコープ第12次中期計画  
2030年ありたい姿  
イメージ動画



# TOPICS コロナ禍での対応

緊急事態宣言等により外出が控えられ、店舗や無店舗事業、宅配の利用が急増し、組合員が生協の良さを広め、新規加入が増えました。組合員の笑顔が職員の元気の源となり、その使命を果たそうと努め、職員の成長につながりました。

## コロナ禍のリスクマネジメント

新型コロナウイルス感染症対応では、職員の健康維持を確保するために家族を含めて全職員の体調を日次で把握し、体調不良や発熱時のルールを徹底しました。あわせて、通勤時の感染リスク減少や事務所の密を回避するために本部職員を中心にリモートワークを積極的にすすめました。

新型コロナ関連対策費用  
1億4,849万円

## オンラインの活用

### 2020年度組合員のつどい

「10,000人が参加するCO-OP商品学びの場」をめざしました。感染症対策をとった少人数での開催や、オンラインやホームページなどから参加いただき、10～12月で10,612人の参加があり、多くの声が寄せられました。



▲組合員のつどいに寄せられた参加者の声

### 組合員活動

組合員活動のあり方や機関運営を見直す機会となりました。組合員が主催する会議や企画の多くは、コミュニケーションアプリの活用やオンライン形式ですすめられました。今後の諸会議や講演会・学習会は、オンライン併用やオンラインのみでの開催を想定し、計画づくりと環境整備をすすめます。

### 産直交流会・取引先点検

オンラインを活用した産直交流会や組合員による取引先点検を実施しました。これまでは訪問できなかった遠方の産地との新たな交流や学びにつながりました。

## 「特別還元! せいかつ応援」の取り組み

新型コロナウイルス感染症によって組合員の暮らしに影響が出ていることを受け、組合員の暮らしに対する特別な想いを込め、「特別還元! せいかつ応援」を夏・冬・年度末の3回実施。ご利用いただいた組合員に約1億2,800万円を還元し、日頃のご利用に感謝し、組合員の暮らしを応援しました。

### 店舗

ならっぴカードスペシャルチャージデー  
●チャージ式プリペイドカード  
「ならっぴカード」に10,000円チャージごとに200円プレゼント  
●ポイント10倍還元企画  
●ピンクレシート企画 などを実施

還元額 約3,284万円

### 無店舗

●7月5回・8月1回ご利用いただいた方全員にそれぞれ180円(個配利用料金相当額)を還元  
●ポイント10倍還元企画  
●CO・OP商品60周年総選挙還元企画 などを実施

還元額 約9,048万円

### 宅配

移動店舗: マイバッグ、アルコールハンドジェル、除菌シートのプレゼント企画  
夕食宅配: コープ商品、アルコールハンドジェル、オリジナルお箸のプレゼント企画

還元額 小計475万円

## ならコープ概要 (2021.3.31 現在)

名称	市民生活協同組合ならコープ	供給高	420億1,793万円 (前年比109.3%)
創立	1974年7月25日	内訳	無店舗事業 297億4,340万円(前年比112.3%)
本部	〒630-8503 奈良市恋の窪一丁目2番2号		店舗事業 109億2,617万円(前年比102.4%)
職員数	1,505人(総合405人、専任55人、定時1,045人 (内、障がい者雇用人数28人))		宅配事業 13億4,835万円(前年比104.8%)
施設数	本部1 支所(配送センター)4 コープふれあいセンター六条1 店舗10 吉野事業所1 田原本物流センター1 たかだ未来づくりステーション1 ならコープ下市ステーション1	組合員数	278,097人 (前年比100.6%) 県内加入率46.2%
子法人及び 関連法人	(株)奈良コープ産業 (株)CWS (株)ハートフルコープなら (株)ハートフルコープよしの	出資金	109億9,143万円 (前年比103.4%)
発行:	(株)コープエナジーなら 電田自動車(株) (有)電田総合保険事務所 東吉野水力発電(株)		

## 市民生活協同組合ならコープ

〒630-8503 奈良市恋の窪一丁目2番2号  
TEL 0742-34-8731/FAX 0742-34-8730  
ホームページ <http://www.naracoop.or.jp/>



国際規格であるISO9001:2015品質マネジメントシステム及び、ISO14001:2015環境マネジメントシステムの認証を取得しています。



●用紙: 適切に管理されたFSC®認証林およびその他の管理された供給源からの原材料で作られています。  
●インキ: 大豆油インキを含む植物油インキ ●印刷: 有害な廃液を排出しない水なし印刷  
●製造、廃棄に発生するCO<sub>2</sub>をカーボンオフセット済 ●CO<sub>2</sub>排出量: 114.6g/部